

太宰府中学校 | 学年だより

第12号 R5.9.19 文責:1年学年主任

前期期末考査を終えて

～期末考査「前」の皆さんの姿を分析してみました。～



中学校生活初の期末考査が終わりました。技芸教科の試験を初めて受けて、どんな感想をもちましたか。中間考査よりも試験科目や範囲が広がったので、「どこから手をつけていいのやら・・・」と悩んで試験にのぞんだことでしょう。

先生方は、皆さんの困り感が少しでも解決できるように、各教科の予想問題を作成したり、放課後学習会も開いて、学習課題や場所を提供しましたが、その願いや想いをどのように受け止めてくれたでしょうか。

試験が終わった後のお決まりの言葉「あ～もっと勉強をしておけばよかった～」は、いつの時代でも毎回聞かれる「あるある言葉」ですが、今回は、試験後の振り返りではなく、試験前の皆さんの様子について目立ったことをピックアップして、お話ししたいと思います。

☺頑張っていたところ

- *ほとんどの生徒が、授業での「テスト対策学習」に静かに取り組んでいた。
- *自分で課題を準備して、自分なりの学習方法で取り組むことができたようになった。(ワークを繰り返し解き直す・まとめノートをつくるなど)



☹気になったところ

- * 提出期限までにワークが終わらずに、慌てて取り組んでいた人が見られた。
- * ワークや教科書などの学習道具の管理ができず、あたふた探す人が見られた。
- * 時間ギリギリに登校したり、授業が始まってから「教科書を取りにいいですか」と当然のような顔をして言うなど、時間の管理ができていない人が見られた。

今回の期末考査の結果を受けて、「どうしたら(もっと)できるようになるんだろう」と同じ振り返りを語る前に、右のコラムを読んでみませんか。

前回の学年通信で「5秒前の行動」の話を伝えましたが、私自身、長い教員生活で多くの生徒と出会った経験から、日頃の生活習慣が学力と結びついていることを強く感じています。

私自身も、恥ずかしい話ですが、教員に成り立ての頃、時間や提出期限を守らなかったときに、先輩の先生から「社会人としての自覚がない!」と厳しく言われた経験もあります。

コラムは、今の皆さんにとって「耳が痛い」内容でしょうが、「なるほど」と受け入れられるかそうでないかは、今後の皆さんの生き方に深く関わってくるのだと思います。

私は皆さんに、「損をする生き方」をしてほしくないと願っています。

学力を高めるには、一生懸命勉強すればよい、と思われているかもしれませんが、その考えは間違っていないかもしれませんが、勉強すれば学力が上がる場合もあれば、上がらない場合もあります。上がらない場合、かなりの確率で“子どもの生活習慣”に原因があるのです。

私は20歳で塾を開設して以来、これまで多くの子どもたちと接してきました。成績の良い子ばかりを受け入れる塾ではありませんので、さまざまな成績を持つ生徒がやってきます。よくみると成績の厳しい子には共通して**3つの生活習慣に課題がある**ことがわかりました。(ただし、成績の良い子がこれらの生活習慣が全てできるわけではありません。逆は真なりではありませんが)しかも、その3つの生活習慣を整えると、学力が上がることもわかったのです。

その3つとは「挨拶」・「時間(期限)を守る」・「整理整頓」です。
その中でも、特に重要なことが「時間(期限)を守る」なのです。

子どもたちを指導していて、1～5分、必ずといっていいほど遅刻する生徒がいます。決まって、そのような生徒は成績がよくありません。遅刻するのであれば、あらかじめ遅れることを電話で連絡してくれるれば良いのですが、それをせずに1～5分遅刻するということは「心の怠惰^{たいだ}」を表しています。

学校の遅刻常習者も、定期試験や入試のような大切な予定のときは遅れませんが、普段の登校には決まって遅れるというのも、まさに「心の怠惰」が原因といっていでしょう。

この状態が日常継続されると、試験前の勉強にも影響を与えます。試験前だけ都合よく計画的に勉強できるということはないのです。そしてテストの点数は伸びないという結果を招くのです。

仲間同士の遊びの約束では「いつも遅刻するやつ」と思われるぐらいで、それほど大きな問題になりませんが、社会人であれば、まずこのような人は信用されず、仕事は任せられません。実際、そのような人は仕事も出来る人でないことも、よく知られています。

また、遅刻癖のある子は、学校の提出物の期限を守らないという傾向もあります。これはさらに深刻な問題を引き起こします。

一般に学校では提出物を期限内に出さないと学習に向かう意欲が乏しいと評価されてしまいます。テストの点数ばかりに目を奪われ、期限内に提出物を出さずという地味なことに気をかけないばかりに、いつまでもよい評価をされずに終わってしまうことがあります。

このような場合によく「私は先生から嫌われている」という言葉を聞きますが、これは大変残念な見当違いです。

*成績が残念な子が直すべき「3つの生活習慣」意外なところに「伸びない」理由が!
石田勝紀(東洋経済オンラインより抜粋 一部表現を変えております)

